

五時

下宿から立退を喰ってまわす

憤慨した職工連

就職を申出れば任意

退職者を認めるこ

藤永田側で発表す

藤永田造船所では就業申込みを
した職工は任意
退職者
を認める旨
では正宿職工二十餘名に對し立

退きを申出したので職工側では非
常に

憤慨して居るが此種

の壓迫は各方面に洩られて居

る

職工側は

再交渉希望

特高へ申出づ

藤永田造船所の労働年議に就き
友愛會大阪支部は這般來協議中
であつた處十四日午前七半工
場職工にして

一 構造的労働組合(大阪造船勞
働組合)を交渉團體として認る
一 工場委員制度(労資相互の委員
に依りて組織する労働調査會)
の二項を認むるの意思がある
らば更に

交渉を重ねる事に決断

藤一、藤二の執行委員中から
三名の代表者を選び其衝に當ら
せる事として工場手帳の意を
際める可く十四日正午府待所
を訪問し意のある處を述べた

雨で延びた

運動會

手持木沙汰の一日
を遊び暮す二百名
藤永田造船所の罷工團は本日午
前十一時から大和川沙原で大運
動會を行ふ筈であつたが折柄の
雨で中止となり明十五日雨でな

かつたら決行することとなつた
それで兩部支部は住吉町計裏手
の事務所集合したが忽々一日
を遊び暮す心算で、十時頃から

二百名ばかりが事務所内外に
溢れて筑前野や團扇餅に興
じつと晴日月を示したが一面何
だか嵐の前の静けさと思はせた

藤沼部長と

労働代表

意見を交換す

藤永田の労働年議に就いて新任
藤沼部長が警察部としての
取締方針と部長の態度を詳明に
するこよ意欲があるのでは友愛
會系各労働團體の代表者友愛
會主事代理木村鉦吉氏外八名は
十四日午後一時協談に藤沼部長

見かねた約一時間に於て種々意

見の交換をして引き揚げた

赤朝刊

持久戦と刃傷沙汰

兩々相結んで解けず

更に検査者を出した藤永田爭議

藤永田造船所の労働年議は全
く解決の形になり職工側の團結
の切實し凍り結んで解
けず

職工側は最高代表委員として藤
沼部長が前日於事務所の三名を提出
し十四日來委員は前日朝三時
の共益社に止むる旨十四日の朝
議決を擧げしめてる朝六日の朝
料立務日は岡川、高田氏に全職
工の委任状を一括して会社に提出
交際を受けざる事にして職工側
り米薪金の預金を五五に減らさ
仕せる事になつて居る

一 職工約千五百名は十五日午
六時、殊り激る雨を以て手帳
水津川運河終端の區に集會し城
後の五分間の風を激しく受つた
が其の結果職工側は出動せんと
した職工はランチに乗る事を出
來なかつた、前午職工側附近
に立つて本工場に出動せんとす
る者を押したこゝで、藤永田
町佐田木吉と、藤二名は刃傷に

解せられた
因に藤永田氏は事件発生の翌
の夜に藤永田造船所の職工
下宿所前角に於て待合して
居る

職工側は十四日午前八時半
頃、藤永田部長は藤永田水産
工場に於て職工に對する
の委託は短刀を以て藤永田の左
口に振りつけたので二級刃起り
けたが職工側は刃を振り
藤永田は目下住吉町警察署に
送せて居る

所主の門前

示威運動

相澤造船所職工
去る六日六時頃の夜米を提出し
工場に通つた大和川橋脚右田町
相澤造船所の職工三百名は自刺
の體たたる事態に突き進み十三日
無期罷休休業を以て罷り持久の

形勢に對して、公報上代表以
下西風安重川の前本部に當り協
議中である